事業計画、予算案など原案通り可決

府国保連合会通常総会

府国保連合会の通常総会は、３月６日、同連合会に３７保険者の代表が出席して開かれ、平成２０年度の事業計画案、一般会計ならびに各特別会計予算案などの議案を原案通り満場一致で可決した。

総会では、久保田勇理事長（宇治市長）の挨拶に続いて、山田啓二京都府知事の祝辞（西垣義郎府医療保険室長代読）が披露された。また理事長表彰（被表彰者名は総会記事のあとに掲載）が行われ、被表彰者代表１０人が会場の祝福を受けた。

議事に入り、議長に吉本秀樹伊根町長、議事録署名人に今井洋一木津川市副市長と宮秋昭府薬剤師国保組合理事長の２人を選任して議案審議を行った。

議案は、平成１９年度の報告承認事項５件、同年度報告事項２件、２０年度の議決事項１３件、同年度報告事項２件の計２２件。いずれも事務局の説明のあと原案通り、満場一致で可決、承認した。議事の中で欠員に伴う理事の選任が行われ、府市長会推薦の門川大作京都市長と河井規子木津川市長の２名が就任した。任期は平成２１年３月末まで。

可決された新年度の事業計画では、連合会は、主要業務を推進するとともに、後期高齢者医療制度の審査支払業務及び委託事務の遂行や特定健診・特定保健指導の費用決済、データ管理を行うなど保険者ニーズに応えるため、一丸となって支援する。

審査支払業務については、新・保険者事務共同電算処理システムの円滑な運営と共同処理の運用、レセプト電算処理システムによる画面審査の全面実施、レセプトオンライン請求システムの安定稼動を図り、保険者とのネットワークの構築などの調査研究を行う。

また、レセプト電算処理システムをはじめとしたサーバ機器等の更改に対する積立金計画を明らかにし、平成２１年度からの積立金負担金について、理事会、総会に提案する、などとなっている。

（事業計画、予算等の総会資料は、総会記事のあとに全文掲載しています）